

木もれ日 通信

第58号

平成28年7月
つきだて花工房発
季刊誌

©つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

初夏の野山に香る
野バラにしばし足を止める



園芸用として、バラほど多くの品種のある花木はない。木立になり、大輪の豪華な花を咲かせるハイブリッドテイー。それよりは少し小ぶりの花を一枝にいくつも咲かせるフロリバندا。つるを伸ばし、フェンスやアーチを彩るつるバラ。そんなカテゴリーごとに数百という品種があり、カテゴリー自体もつとバリエーションがある。

香りもさまざま。甘いフルーツの香り、スパイシーな香り。「ティー」や「ミルラ」と呼ばれる香り。さらにそれらのミックス。また、香りの強さも品種ごとに異なる。

容姿、香りをもってして人々を魅了してやまないバラ。その多くは「接ぎ木」という技術を使って育成される。丈夫で、旺盛に水や養分を吸い上げる「台木」に「挿し穂」を接ぐことで、丈夫な苗作れる。日本では多くのバラ苗の台木として使われるのがノイバラだ。

ノイバラといえば最初に浮かぶ歌は「野バラ」だろうか。あの歌の中で、野バラは「くれなゐにほふ」と歌われる。舞台が日本であれば、紅のバラはハマナスだろうか。このあたりで普通に目にする野バラといえはノイバラであろう。昨今の、手入れのされなくなった田畑や里山の裾などに繁殖し、密生する棘が人の侵入を拒む。

ノイバラはつる性の落葉低木。春先から新芽を伸ばし、5月中旬頃、小さな白い花を枝先にいくつも咲かせる。花弁は5枚。中心のしべが黄色に輝く。そしてなにより、香りが素

晴らしい。

畑で、ギンギンと痛む腰をエイヤツと伸ばす。5月中旬といえは夏野菜苗の植え付けや、春に蒔いた葉物野菜の手入れで畑仕事が忙しくなってくる時節。風は心地よくとも、日差しは容赦なく強い。暖められた地面から温気がゆらゆらと立ち上り、さまざまな香りが立ち上がってくる。吹く風に乗って鼻孔をくすぐるのはノイバラの花の香り。ツンと気の強さを感じさせるその香りはオールドローズ香。その香りに陶然とするうちに、いつしか腰の痛みが軽くなっていることに気づく。

沖縄民謡に「安里屋ユンタ」という歌がある。相手(それが男性か女性は特定されていない)を「野中のイバラの花」に喩え、夕暮れ時にたどる家路の途中で引き留めることよ、と歌われる。

鎌を担いで家に向かう途中でさきの香りの主に行き当たり、しばしまたその香りを楽しむ。そんなひとときが値千金に感じる、初夏の夕暮れが毎年楽しみなのだ。



つきだて花工房 オープン20周年

月館町と都市との交流拠点として、平成8年8月8日にオープンしたつきだて花工房は今年で20周年。そこで、今回と次回の2回にわたって、この20年間の世の中の動きを追いながら、つきだて花工房20年の足跡を辿ります。

1回目となる今回は、オープンから平成16年頃までを振り返ってみましょう。

平成8年 アトランタオリンピックのあったこの年、一般公募により、「つきだて花工房」という名前が与えられ、8月8日につきだて花工房がオープンしました。

平成9年 消費税が5%にアップした年。つきだて花工房に郵政省から写真のような時計が贈られました。そういえばこの時計、いつなくなったのでしょうか…

平成10年 長野冬季オリンピック開催。スキージャンプや女子フリースタイルスキーなどでの金メダル獲得に日本中が沸きました。

平成11年 この年から絵手紙教室がスタート。

平成12年 シドニーオリンピック開催。三宅島で火山が噴火し、全住民が島を離れました。この年は、現在交流館もりもりがある場所で、つきだて夢学校主催の「4700本のひまわりプロジェクト」を実施。多くの方の目を楽しませました。

平成13年 9/11 アメリカ同時多発テロが発生。ツインタワービルに激突する旅客機とその後崩壊するビルの映像は、いまだに鮮烈に脳裏に蘇ります。

平成14年 秋に開催している恒例の朗読会がスタート。ハーブ教室もこの年に始まりました。今でも開催しているハーブ教室では、多くの方が香りを生活の一部に取り込んで楽しむコツを教わっています。また、農産物直売所「やさしい工房」が、うつくしま未来博で使われたイベントハウスで営業開始したのもこの年でした。

平成15年 2月にスペースシャトル・コロンビア号が空中分解事故を起こし、翌3月にはイラク戦争開戦。花工房では農業体験用の石窯が建設されました。プロの手を借りながらも、ボランティアの方々と一緒に楽しみながら、そして達成感を満喫しました。また、日本さくらの女王を招いての、桜植樹祭を開催しました。その記念碑は、交流館もりもり西側の芝生に建てられています。

平成16年 11月に一万円、五千円、千円札のデザインが一新され、千円札には福島県出身の野口英世博士が登場しました。12月にはインド・スマトラ沖で巨大地震が発生。津波で多くの犠牲者が出ました。アニバーサリーコンサートとして毎年開催しているバロックコンサートが「チェンバロコンサート」として初めて開催されたのはこの年。

平成9年、郵政省から時計が贈られました。写真は除幕式の様子。



平成14年、ハーブ教室がスタート。ハーブ園が整備されました。



平成15年、さくらの女王を迎えるの桜植樹祭の様子。美しい振り袖での作業は、少々お気の毒。



交換ホームステイでの交流があったアメリカのリビア市からのお客様をお迎えました。平成16年の写真です。



※紙面の都合により、お客様ノオトは3面に掲載、花々日記はお休みします。

絵手紙教室

絵との会話、楽しんでみませんか？ 夢中になれるひととき。

講師：和田恵秀さん（切り絵作家） 参加費：1,000円

開催日：8/22、9/12、10/17（全て月曜日） 開催時間：10:00～12:00

お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった
ついでに花工房の宝石箱です



だてフォークダンスクラブ様

福島市在住の佐藤マサ先生を講師に迎え、毎週木曜日伊達学習交流館にて練習をされているとの事。花工房芝生にてフォークダンスを楽しまれました。「健康に良いですよ」とお誘いを受けました。随時募集中とのことなので、皆さまいかがですか？



関口様

伊達市月舘町にお住まいの、関口セキ様の百寿のお祝いをご親戚一同様でされました。花束をいただきうれしそうでした。いつまでもお元気で過ごして下さい。



螺沼辨天さくら会様

毎年桜のきれいな時期となる4月11日にご利用いただいている保原町大立目地区の皆さまです。「安田さん」とお呼びすると皆さん「はい」とお答えするほど安田さんという名字が多い地区とのこと。おしゃべりに花が咲いていました。



小野様

小野様ご夫妻は、いつも花工房やスタッフひとりひとりを気遣って下さっています。一緒に様々なイベントにも参加され、奥様はリーディングアワードの会で活躍されています。また、いつもお互いを思いやる様子がうらやましいです。いつまでも花工房を応援して下さいね。



月舘小学校2年生

月舘小学校2年生の皆さんが親子体験をされました。今回は竹のクラフトと森のクラフトを楽しみました。のこぎりで竹を切ったり割ったりと、初めての作業を親子で頑張り、出来上がった竹ぼっくりや弓矢で楽しく遊んで行かれました。



ハーブ教室

毎月行われているハーブ教室。5月の教室では、ハーブガーデニングの応用編として、ハーブのコケ玉づくりをしました。ミントやセージ、ゼラニウム、ローズマリーなど、いろいろなハーブがコケ玉に変身しました。今年の夏は窓辺の涼しげなコケ玉に癒されますね。教室の最後には、毎回ハーブティが出されます。ミントやカ

モミールなど季節や用途に合わせて先生がブレンドして下さり、心も体も穏やかな時間を過ごしています。



厨房のイチオシ!

夏メニュー、始まりました。夏野菜と魚をとりいれ、さっぱりとした味付けの中にも、しっかりとした野菜のうまみと食感を生かした献立になっております。一例ですが、伊達鶏モモ肉をレモン焼に、サーモンとホタテはサラダと玉ねぎでカルパッチョ仕立てにしました。

百合の膳では鮎の塩焼きを、相性の良い蓼酢(たです)でご用意いたしました。また、花の膳では福島牛を冷しゃぶにし、パプリカ・アスパラなどの夏野菜とともに胡麻のソースでお召し上がりいただけます。彩り鮮やかに、味も見た目も楽しめる夏メニュー、いかがでしょうか？
もう一つ、ランチで冷やし鶏そばを始めました。暑い夏にぴったりです！

材料(4人分)

- | | |
|---------------|----------------|
| ・鶏ムネ肉 …… 100g | ★ |
| ・キュウリ …… 2本 | ・だし汁 …… 720cc |
| ・ズッキーニ …… 1本 | ・うすくち醤油… 180cc |
| ・ミニトマト… 12個 | ・みりん …… 90cc |
| ・ミョウガ… 3本 | ・酢 …… 45cc |
| ・レモンライス | |

〈作り方〉

- ① 鶏ムネ肉、キュウリ、ズッキーニは一口大に切り、ミニトマトは皮を湯むきしておく。
- ② 鶏ムネ肉に小麦粉を絡めて揚げ、キュウリ、ズッキーニは素揚げにして油を切る。
- ③ ★の材料を合わせ、薄い輪切りにした茗荷を加え、一煮立ちさせて冷ましておく。
- ④ ②を③にひたし、レモンライスを入れて冷蔵庫で冷やして味を含ませる。

季節の一品



鶏肉と夏野菜の酢浸し

日々の暮らしにハーブの香りを〜ハーブ教室・今後の予定
講師：瀧田 勉先生(ハーブとスローライフの研究者)
参加費：1,800円(材料費・税込)

7月25日(月) 「ハーブとスパイス」ハーブ&スパイスカレー、ハーブピクルス
8月29日(月) 「ハーブ調味料」フレッシュハーブペースト、ひとくちハーブピッツァ
9月26日(月) 「ハーブクッキング」ハーブソーセージ、ハーブサラダ

つきだて花工房オープン20周年記念
アニバーサリーコンサート#13 8/8(月)

昨年に引き続き、チェンバロに加え2台のヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの弦楽四重奏でお送りします。今回のテーマは花工房のシンボルにもなっている「月と花」。月や花にちなんだ楽曲でぜひたくなひとときを。

ヴァイオリン：福田貴子／富山宏基 ヴィオラ：出口貴子
 チェロ：竹林 良 チェンバロ：五十嵐裕子
 チェンバロ調律：佐藤俊二

時間 1回目：午後3時開演（午後2時30分開場）
 2回目：午後7時開演（午後6時30分開場）

会場 つきだて花工房

料金 大人¥2,000 中学生・高校生¥1,000 小学生¥500(全席自由)

福島県発着の無料送迎バスを運行します。
 月舘町内でも、中央交流館発着で無料送迎いたします。



満月のつどい

アイルランド音楽と落語の夕べ 9/17(土)



時間 午後7時開演
 (午後6時30分開場) 料金 大人¥2,500 小学生¥1,000 (全席自由)
 会場 つきだて花工房 8/13よりつきだて花工房にてチケット発売

つきだて花工房オープン 20周年記念
アニバーサリーコンサート #13

2016
8/8
 MON

Moon and Flower

つきだて花工房オープン20周年を記念して
 チェンバロと弦楽四重奏で曲「月と花」の夕べ

ヴァイオリン 福田貴子 富山宏基
 ヴィオラ 出口貴子
 チェロ 竹林 良
 チェンバロ 五十嵐裕子
 チェンバロ調律 佐藤俊二

日時 2016年8月8日(月)
 1回目：午後3時開演(午後2時30分開場)
 2回目：午後7時開演(午後6時30分開場)

会場 つきだて花工房

料金 大人 ¥2,000
 中学生 ¥1,000
 小学生 ¥500
 (全席自由)

プログラムより

法楽四重奏曲：「日の出」ハイドン／「ラベンダーの庭」X. ハス
 法楽四重奏とチェンバロ：「月光」ベートーヴェン
 ガイオリンとチェロとチェンバロ：
 「ヴァイオリン・ソナタ作品1-13」1楽章 ヘンデル
 チェンバロ・ソロ：
 「さえずり」「花吹雪舞臺」「百合の花唄」 クープラン

1日目の公演は 福島県内口発着の無料送迎サービスをご利用いただけます
 月舘町内の方は 月舘中央交流館発着の無料送迎サービスをご利用いただけます
 どちらも中心が異なります チケットご予約の際はお申し出下さい

主催 一般社団法人つきだて花工房

つきだて花工房 福島県伊達市月舘町下手渡字寺窪7
 Tel 024-573-3888 Mail flower@t-hanakobo.jp http://t-hanakobo.jp

今年1月に「新春招福のつどい・アイルランド音楽と落語の遭遇」として開催した、アイルランド音楽と落語のコラボイベントが、秋の満月の夜に帰ってくる！ 日本で屈指のアイルランド音楽家、守安功さんがさまざまな笛を駆使すれば、守安雅子さんが太鼓などの多彩な楽器で応酬。ときに優しく、ときに踊り出したくなるような、どこか懐かしい旋律。そして、若手ながら古典・新作問わず、会場を笑いの熱気で包む、三遊亭わん丈さんの落語。秋の夜長を、ホットにお過ごし下さい。

木もれ日通信ではみなさまからのお便りを随時募集しております。郵便またはメールでも受け付けております。ぜひお寄せ下さいませ。



◆妻と訪れたのは三度目ですが、秋春それぞれ表情が良く、楽しめました。今回は新緑が「盛り」ですごい！の連発でした。また、高いところからほとんど人口のな物が無い景観は、気候にも恵まれて美事というほかありません。途中の通路には、様々な花が植えられて、どれもが控え目なアピールを入園者、通行人にしては、とてもほほえましかったです。〈福島市H・T様〉
 ◆花々日記が一番好きで読んでいます。いつも職場の仲間と利用させていただき、美味しい食事に話も盛り上がり、楽しいひと時を過ごさせていただき、幸せを感じます。〈霊山町S・K様〉

お客様の声

クレマチス
 いつも花工房をご利用頂いている高橋様から、クレマチスの鉢花をいただきました。お花が大好きとのこと、ご自宅のお庭にもお花をたくさん植えていらっしゃるそうです。大切にさせていただきますね。



ラベンダーの季節になりました。いろいろな色のサテリリボンを準備して、香りに癒されながらステイックを編むのが楽しみです。〈厚子〉

普段、室内作業の私。外で作業していただいている職員に毎回頭の下がる思い。今年もあつついなあ。〈あか〉

20年前の私は年子の子育て奮闘記真最中でした。大変でしたが、毎日が成長の発見で楽しい思い出がよみがえります。〈幸〉

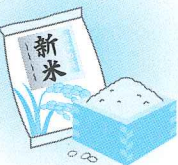
編集後記

大地震に豪雨。自然は情け容赦ない。せめて少しでも早く、平穏な日々が熊本の皆さんにおとずれますよう。〈つきはな〉

木もれ日通信57号プレゼント当選者
 伊達市保原町 小林 耕喜様
 安達郡大玉村 山下真由美様
 福島市 加藤 幸江様

木もれ日58号
プレゼント

おいしい
月舘の新米



3名様にプレゼント

ムーンセラビー 月の明かりで疲れた心を癒したい。いまずかカレンダーにチェック!!

8/18(木)
 9/17(土)
 10/16(日)

【新月の夜】
 8/3(水)
 9/1(木)
 10/1(土)

休館日 8/23, 9/6, 10/18 (全て火曜日)

木もれ日通信58号
 読者プレゼント
応募券